

6. 今後の対応

平成26年度から平成28年度までの全国学力・学習状況調査及び宮城県学力・学習状況調査結果に基づき、以下に示す5点を石巻市の課題と捉え、学力向上に向けて取り組んでいく。

◆教職員の授業力向上を目指す。

- 「学習指導の改善を図る研修会」を定期的開催し、研修内容を各校で実践する。
- 「石巻市立学校教職員スタンダード」の、一層の定着、浸透を図る。
- その時間に身に付けさせたい（身に付ける）力は何なのかを児童生徒と共有して授業を展開する。
- 調べたり考えたりしたことを文章に書く活動や聞き手を意識して発表する活動を意図的に取り入れる。
- 学びの実感をもてる振り返り活動を指導過程の中にしっかりと位置付けて実践する。

◆自己有用感を感じる場の設定を行う。

- 児童生徒の良さや望ましい言動を積極的に認め、褒め、伝える。
- 豊かな心を育む体験活動や一人一人に合う役割をもたせた活動の充実を図る。
- 夢や希望をもたせる指導や活動を引き続き行うとともに、児童生徒の心のケアに、丁寧に対応していく。

◆基本的な生活習慣の定着の一層の推進、生活リズムの見直しを行う。

- 睡眠時間の確保及び就寝・起床時間について、家庭と協力しながら指導していく。
 - テレビ等の視聴時間、ゲーム、スマートフォン（携帯電話）、インターネット、メール等をする時間についての指導を家庭と協力して行う。
- 情報モラル、リスク回避のスキル等も、児童生徒の発達段階に応じて指導していく。

◆学校図書館の有効活用と読書の習慣付けを図る。

- 学校図書館司書の配置の拡充を検討し、計画的に配置を行う。
- 学校図書館やその図書を利用した授業及び朝の読書活動の推進を行う。
- 読み聞かせ、好きな本を紹介する活動等を通して、読書への興味を喚起する。

◆家庭学習の習慣化を図る指導を行うとともに、校内体制を確立させる。

- 家庭学習の質を重視した取組への指導を徹底する。
- 児童生徒の取組を適切に評価して意欲を喚起する。
- 課題の内容や与え方を学年、教科担任等で共有し、授業に生かす。